

## 基地対策特別委員会行政視察概要

1 視察月日 令和4年3月24日（木）～3月25日（金）

2 視察先及び視察事項

（1）山口県岩国市

岩国市における基地対策の取組について

（2）中国四国防衛局岩国防衛事務所（山口県岩国市）

岩国飛行場における米軍の施設使用状況について

3 視察委員

副委員長 ふじい 芳 明

委 員 大山 しょうじ

## 視察概要

### 1 視察先

山口県岩国市

### 2 視察月日

3月24日（木）

### 3 対応者

議会事務局長（受け入れ挨拶）

総合政策部基地政策課長（説明）

総合政策部基地政策課基地政策班長（説明）

### 4 視察内容

#### （1）岩国市における基地対策の取組について

##### ア 着艦訓練

米空母艦載機が行う陸上着艦訓練は、その特殊性から、他に類を見ない騒音を発生させるものである。特に夜間における着艦が技術的に難しいことから、夜間にも行われている。この訓練は基地の周辺はもちろんのこと、近隣自治体までわたる多くの住民の家族団欒、睡眠、休養等、平穏な生活に多大な影響を与えている。

##### イ F-35B（ステルス機）への機種更新

令和2年8月26日に防衛省地方局長が岩国市役所に来庁し、岩国飛行場におけるF-35Bへの機種更新について、令和2年10月以降に岩国飛行場のFA-18ホーネット部隊が、F-35Bへ機種更新を開始する予定である旨の説明があった。岩国市ではこれまでも航空機騒音や事件、事故に関わる安心・安全対策についても、市民の不安を払拭するため施策を実施している。

##### ウ 質疑概要

Q 米軍施設の新型コロナウイルス感染状況の情報の出し方、市議会との連携はどのような状況か。

A 基地と岩国市が対立構造にならないように、情報交換をしており、岩国地域の感染情報を共有している。基地からの感染となると報道の対象となってしまうため、しっかりと対応している。基地からは毎日感染状況の知らせがある。情報のやり取りは市長が基地司令官に直接電話をしているケースもあり、また市長は国と

のパイプを太く、色々と基地側と市議会側で情報共有し、しっかりと連携も強化されている。

Q 基地関連の従事者の人数はどのような状況か。

A 1. 米軍関係者 年平均

米軍 約3500人

軍属 約400人

家族 約2500人

2. 基地従業員

基本労働協力者 約1265人

食堂や売店等従事者 約304人

3. 海上自衛隊

隊員数 約1600人

平成29年以降は非公開となっており、艦載機部隊移住後の米軍関係者は、1万人を超えるとみられる。

Q 基地負担を岩国市が担う形になったが、防音対策費の負担軽減を市側から要求することなどをどのようにしているのか。

A 周りの市町村から要求することはなかなかできないため、国から情報発信をして欲しいと考えている。

Q 騒音等に関しての苦情の状況はどうか。

A 市民から基地に対する様々な苦情が市に寄せられているが、航空騒音が大多数となっている。苦情内容は、基地や国に対して配慮するように要請、あるいは協議を行う等対処している。

Q 人口移動はどのような状況なのか。若者世代への呼び込みやつなぎ止めなど現状はどのようになっているのか。

A 岩国市でも年間約1000人程度人口減少が起きている。子供にかかる負担を減らす政策を行っている。岩国を好きになってもらえる政策を進めようとしている。

## (2) 委員所見

米軍岩国基地の対応については、「米海兵隊岩国航空基地における新型コロナウイルス規則」に基づき、厳しい感染防止対策が実施されていることを確認した。

また、岩国基地では、新型コロナウイルスのワクチンが到着し接種がされていた。市としては、今後とも、岩国基地や関係機関と相互に連携しながら、地域の感染拡大防止に取り組んでおり、本市でも情報交換等の連携を強化するべきである。



(岩国市会議室にて説明聴取及び質疑)

## 視察概要

### 1 視察先

中国四国防衛局岩国防衛事務所（山口県岩国市）

### 2 視察月日

3月25日（金）

### 3 対応者

南関東防衛局企画部次長（受け入れ挨拶）

岩国防衛事務所所長（受け入れ挨拶及び説明）

### 4 視察内容

#### （1）岩国飛行場における米軍の施設使用状況について

##### ア 事業内容

岩国防衛事務所は、山口県の東部、錦帯橋で知られる岩国市に所在し、山口県全域の13市6町と広島県大竹市を管轄しており、駐留軍等労働者の労務管理等に関しては、山口、広島両県を管轄している。

当事務所は、昭和24年1月、公法人特別調達庁呉支局の出張所として発足し、監督官事務所、調達事務所、防衛施設事務所と改称し、平成19年9月の防衛省組織改編により中国四国防衛局岩国防衛事務所として現在にいたる。

管内の主な防衛施設としては、陸上自衛隊山口駐屯地、海上自衛隊小月基地、海上自衛隊下関基地、海上自衛隊岩国航空基地、航空自衛隊防府北基地、航空自衛隊防府南基地、米軍岩国飛行場が所在し、関係機関との連絡調整、米軍による事件・事故の対応、駐留軍等労働者の労務管理、給与等の支払及び福利厚生などの業務を行っている。

##### イ 質疑概要

Q 中国四国防衛局岩国防衛事務所の体制と対象エリアについて確認したい。

A 12人体制で行っている。対象エリアは、岩国飛行場であり、弾薬庫は、中国四国防衛局が管轄している。

Q 中国四国防衛局岩国防衛事務所に担われている苦情の対応状況について確認したい。

A 岩国市役所に来る騒音に対する苦情は増えている。米軍兵が関連した事件や事故対応も増えており、様々な苦情対応や事故処理等が発生している。

Q 基地との共存のためどのようなことを行っているのか

A 広島県に所在する中国四国防衛局より支援され、米軍敷地内に学校が存在しているが、良好な関係構築を目的に、岩国市内の学校とコンサートやスポーツ等を一緒に行っている。

Q F-35Bが更新するたびに増えているが、騒音の状況はどうか。

A 騒音数値で見ると大きいですが、苦情件数は増えているわけではない。

## (2) 委員所見

今後、本市としても、返還された米軍施設の跡地利用については、国と連携してさらに進めて行ければ良い。また、予算確保等も含めて対応していくことが重要である。



(岩国防衛事務所にて)